

ビジネスにおけるトッププレゼンスという挑戦

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

グローバル市場でのトッププレゼンスの構築は、企業の内実においてその先端性を得ることなのである。MBAにおける新しい趨勢は、その先端基準を明確に理解し、企業の高い生産性や優れた製品においてグローバル市場を牽引することで、トッププレゼンスを行うことができるのである。

これらは新しい技術革新や産業革命、ソサエティ5.0という基準は、テスラモーターの先進生産システムなど、企業における自己革新と革命は、グローバル市場における先端環境を自己に構築し、市場原理における優位性を早急に求められるのである。

経済が競争であり、MBAの進歩は、新しい現実を与えることにおいて、市場原理における企業の自己構築は、企業が自己の哲学と理念、コンセプトとともに、その内実において、最も優れた環境を世界基準において整備することが必要なのである。

これらは企業の独立と自立においてグローバル市場で生き残る、正しい選択なのである。これらは未来に予測される企業の振り分けに対して、生き残りへの正しい選択であると考えられる。

優れた企業と強い企業体力は、生き残りを実現できるのである。

これらは必ず全ての企業における自己挑戦である。これらは企業の目標は同じであったことは真実なのである。これは自己の完成である。

これらが企業経営の安定化を与えるのである。永続する自己プレゼンスは、市場での永続的な自己を可能とできるのである。

これらが、到達が難しい技術と資本における現実であるため、その永続性の確立を実現できるのである。